

株式会社デジタルガレージ
第11期決算説明会

2006.08.30



目次

□ ミッション&ビジネスモデル	3
□ グループ業績レビュー	8
□ 第11期 連結財務諸表の要約	13
□ 第11期 事業セグメント別レビュー	18
□ 事業セグメントと中期経営計画	33

ミッション & ビジネスモデル





Real & Cyber
Local & International
Marketing & Technology
Present & Future

を結ぶ

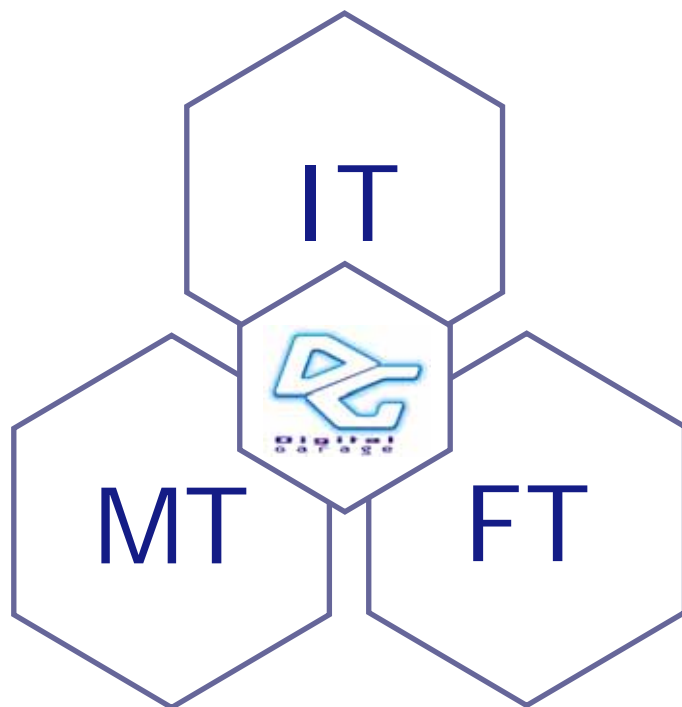
Context Company

として

インターネット時代における
新しい日本の
生活・社会・産業への
ビジネスソリューション提供

日本のインターネットビジネスを

IT/MT/FT の3つのコア機能を駆使し、プロデュース/インキュベート



★ Information Technology

★ Marketing Technology

★ Financial Technology

<KEY CONCEPT>

FEDERATION MANAGEMENT

<DGグループ連邦経営>

『異なる企業体が独立して動くと同時に、

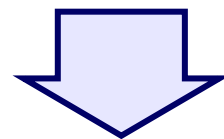
全体としても協調・共振する企業グループの形成』

遠心力 ←————→ 求心力

2006年1月1日より純粋持ち株会社体制への移行

- ◆ 純粋持ち株会社としての、グループ戦略策定機能の強化
- ◆ 各事業の経営責任(権限)の明確化
- ◆ グループ視点での中期経営目標の設定と実行
- ◆ 事業会社の専門性・創造性・客観性の追及

さらなる 遠心力 ↔ 求心力



連邦経営第二ステージへ

第11期より「グループ中期3ヵ年計画」を開始

< グループ内の機能的再編 / 経営資源の最適配置 >

グループ業績レビュー



-当期の位置づけ-

「グループ中期3カ年計画」の初年度 純粋持ち株会社移行後の初の通期決算

- 連結通期売上高12,476百万円(対前期比59%増) 営業利益1,703百万円(対前期比285%増)、経常利益1,505百万円(対前期比1287%増)と、ともに過去最高を達成。
概ね、通期会社予想数値で着地したものの、当期利益は子会社(株)カカコムの一時的サイト閉鎖や新設会社の初期費用等により、338百万円(当初予想400百万円)にとどまった。
- セグメント別売上高は、ソリューション 4,972百万円(対前期比11%増)、ポータル・ブログ 2,885百万円(対前期比38%増)、インキュベーション 2,449百万円(今年からの新設セグメント)、ファンナンス 2,167百万円(対前期比68%増)と、全てのセグメントとも事業規模は拡大した。
- 一方、営業利益ベースでは、ファイナンス605百万円(対前期比167%増)、インキュベーション1,098百万円(新設セグメント)が好調に推移したが、ソリューション124百万円(対前期比61%減)、ポータル・ブログ286百万円(対前期比42%減)にとどまった。
- EBITDAは、2,506百万円(対前期比238%増)と大幅に拡大した。
- Web2.0関連戦略事業群として、(株)テクノラティジャパン、(株)WEB2.0、(株)グロース・パートナーズや、電通グループ、ADKとの合併広告事業の(株)CGMマーケティングなどをスタートし、中長期での次なる成長のベースを構築した。

単位:百万円

	2005年6月期	2006年6月期	前期比	
売上高	7,846	12,476	4,629	159%
営業利益	442	1,703	1,261	384%
経常利益	108	1,505	1,396	1,386%
当期利益	633	338	△294	53%
EBITDA	742	2,506	1,763	337%

事業セグメント別サマリー

◆ ソリューション事業

売上高は増加したが、新設会社の初期投資・のれん代・事業統合の準備の影響により営業利益は減少。

◆ ポータル/ブログ事業

カクコムサイト一時閉鎖を乗り越え、売上高は拡大。

不正アクセス対策費用及び、Web2.0関連戦略事業新設会社の初期投資等により、営業利益は減少。

◆ インキュベーション事業

投資事業会社を設立し、独立セグメント化。

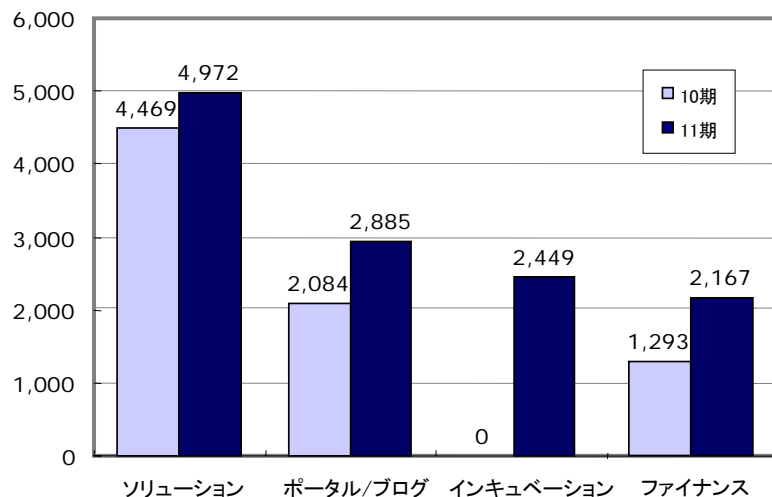
DGにおける過年度からの投資・育成の成果で、連結業績に大きく貢献。

◆ ファイナンス事業

イーコンテクトの決済事業の順調な成長により、売上高、営業利益ともに大幅増加。

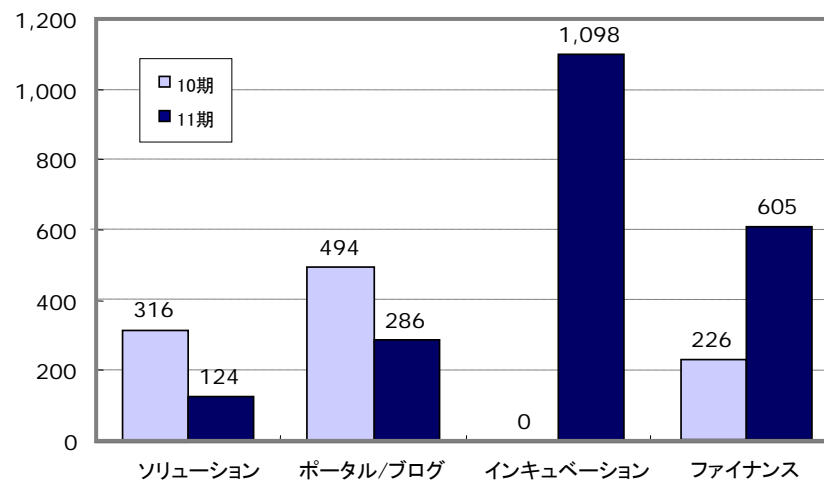
(単位:百万円)

<売上高>



(単位:百万円)

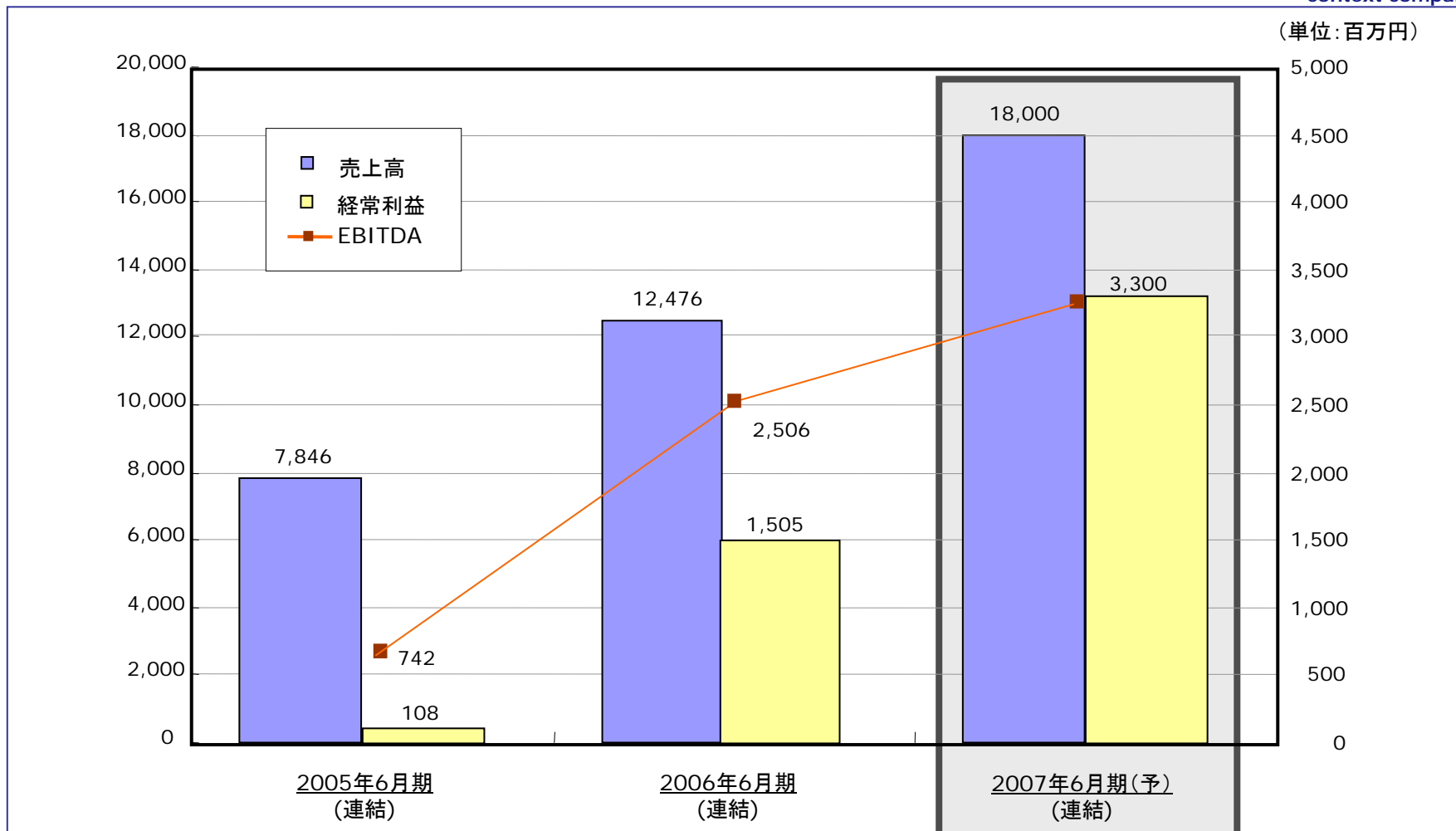
<営業利益>



来期予想と過年度の推移



context company



売上高	7,846	12,476	18,000
経常利益	108	1,505	3,300
EBITDA	742	2,506	3,300



第11期 連結財務諸表の要約



	2005年6月期		2006年6月期	
売上高	7,846	100.0%	12,476	100.0%
売上原価	4,664	59.5%	6,627	53.1%
売上総利益	3,182	40.5%	5,849	46.9%
販売費・一般管理費	2,739	34.9%	4,145	33.2%
人件費	1,175		1,647	
連結調整勘定償却額	279		526	
その他	1,283		1,971	
営業利益	442	5.6%	1,703	13.7%
営業外収益	272	3.5%	133	1.1%
投資事業組合収益	43		99	
その他	229		34	
営業外費用	606	7.7%	332	2.7%
支払利息	108		131	
持分法投資損失	320		144	
その他	177		56	
経常利益	108	1.4%	1,505	12.1%
特別利益	1,437	18.3%	7	0.0%
持分変動利益	848		-	
関係会社株式売却益	484		-	
その他	104		7	
特別損失	119	1.5%	61	0.5%
持分変動損失	-		14	
その他	119		46	
税金等調整前当期純利益	1,426	18.2%	1,451	11.6%
法人税、住民税及び事業税	327		875	
法人税等調整額	152		291	
少数株主損益	313	-4.0%	528	-4.2%
当期純利益	633	8.1%	338	2.7%



(資産の部)

(単位:百万円)

	2005年6月		2006年6月	
流動資産	13,600	56.1%	17,523	63.1%
現預金	6,815		7,575	
受取手形/売掛金	2,069		2,662	
営業投資有価証券	—		4,528	
未収入金	4,021		2,542	
その他	694		213	
固定資産	10,631	43.8%	10,250	36.9%
有形固定資産	233		300	
無形固定資産	6,146		6,119	
連結調整勘定	5,715		5,186	
その他	430		932	
投資その他の資産	4,251		3,830	
投資有価証券	3,843		3,168	
その他	407		662	
繰延資産	27	0.1%	—	
資産の部合計	24,259	100.0%	27,774	100.0%



(負債の部)

(単位:百万円)

	2005年6月		2006年6月	
流動負債	14,379	59.3%	13,784	49.6%
支払手形/買掛金	1,123		1,238	
短期借入金	860		1,130	
1年以内返済予定長期借入金	505		411	
1年以内償還予定社債	436		100	
未払法人税等	248		819	
預り金	10,237		9,542	
その他	968		541	
固定負債	549	2.2%	3,321	12.0%
社債	220		420	
長期借入金	281		2,870	
その他	47		31	
負債の部合計	14,929	61.5%	17,106	61.6%

(純資産の部)

株主資本	6,646	27.4%	7,041	25.4%
資本金	1,769		1,798	
資本剰余金	4,303		4,331	
利益剰余金	575		913	
自己株式	2		2	
その他有価証券評価差額金	37	0.2%	206	0.7%
少数株主持分	2,646	10.9%	3,419	12.3%
純資産の部合計	9,330	38.5%	10,668	38.4%
負債・純資産合計	24,259	100.0%	27,774	100.0%



(単位:百万円)

	2005年6月期	2006年6月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,295	1,898
投資活動によるキャッシュ・フロー	165	3,305
財務活動によるキャッシュ・フロー	573	2,806
現金・現金同等物に係る換算差額	0	0
現金・現金同等物の増加額	2,702	1,399
現金・現金同等物期首残高	3,369	6,072
現金・現金同等物期末残高	6,072	7,471

第11期 事業セグメント別レビュー



I

ソリューション事業セグメント

ITシステム設計・構築、マーケティング活動の企画・設計・実施

II

ポータル/ブログ事業セグメント

『価格.com』、CGM、Blog等のポータル事業

III

インキュベーション事業セグメント

ネット関連企業の投資・育成(インキュベーション事業)

IV

ファイナンス事業セグメント

決済、為替、保険等のインターネットを利用した金融関連業務



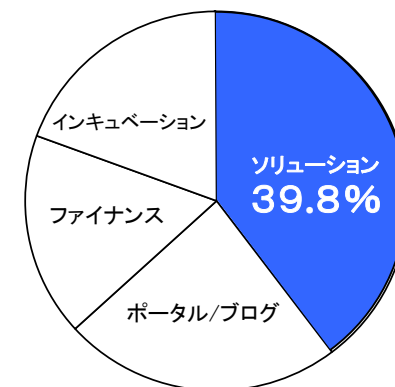
第11期 事業セグメント別レビュー

I ソリューション事業セグメント

<財務基礎データ>

売上高 4,972 百万円 / 営業利益 124 百万円 / EBITDA 354 百万円
 (対前期比 11%増) (対前期比 61%減) (対前期比 22%減)

グループ内売上高シェア



<セグメントの位置付け/戦略>

DGグループの安定的な基盤事業として、「ITソリューション」「マーケティングソリューション」といった、主に受託型ビジネスを総合的に展開。また、グループメディア会社への広告集稿のゲートウェイ機能を担当。

<セグメント事業会社の状況>

社名	持株比率	事業内容
(株)DGソリューションズ	100%	ソリューションセグメントの中間持株会社
(株)ディージー・アンド・アイベックス	100%	IT×MTソリューション事業(8月1日事業統合)
(株)クリエイティブガレージ	100%	クリエイティブ関連事業(映像、出版、グラフィック等)
(株)DGメディアマーケティング	90%	ネット広告代理、メディアコンサルティング事業
(株)インタースコープ	32%	ネット調査、データマイニング事業(DGI株式所有)

<今期ハイライト>

- 2006年3月: ▼(株)DGメディアマーケティングを(株)カカクコム、フォートラベル(株)等と設立
- 2006年8月: ▼(株)DGソリューションズのWeb広告事業を事業分割し、(株)DGメディアマーケティングに統合
- 2006年8月: ▼(株)DGソリューションズのWebソリューション事業を事業分割し、アイベックス・アンド・リムズ(株)との事業統合により、新商号(株)DG&Ibexとして事業活動開始

- ◆ 8月に事業統合した(株)DG&アイベックスが、『シームレスなIT×MTソリューションサービス』を提供
- ◆ WEB広告事業の新設会社、(株)DGメディアマーケティングは、主に『価格コム』を中心とした展開を推進中
- ◆ デザイン業務においては、(株)クリエイティブガレージ、ネット調査業務は(株)インタースコープが担当

グループ企業メディア



他 有力サイト

(株)DGメディアマーケティング

WEB広告

EC

アフィリエイト

デジタル
プロモーション

リアルプロモーション
& デザイン

(株)DG & アイベックス

(株)クリエイティブガレージ

(株)インタースコープ

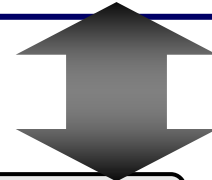
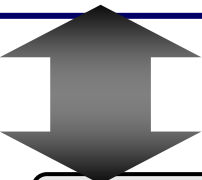
WEB制作&システム
開発&WEBデザイン

戦略クライアント



不動産業界
家電業界 金融業界

大手上市企業を中心
とした、約300社の
法人クライアント



MASS 4媒体(TV・新聞・雑誌・RD)との連動を強化!

ROI重視の <トータル eマーケティングカンパニー> に向けて!

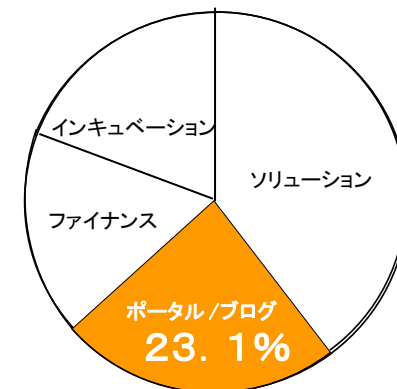
第11期 事業セグメント別レビュー

Ⅱ ポータル/ブログ事業セグメント

<財務基礎データ>

売上高 2,885 百万円 / 営業利益 286 百万円 / EBITDA 788 百万円
 (対前期比 38%増) (対前期比 42%減) (対前期比 176%増)


グループ内売上高シェア



<セグメントの位置付け/戦略>

グループの中核メディアのカカクコムの変なる成長と、次世代型CGM事業 (Consumer Generated Media:消費者発信型メディア)の早期確立。

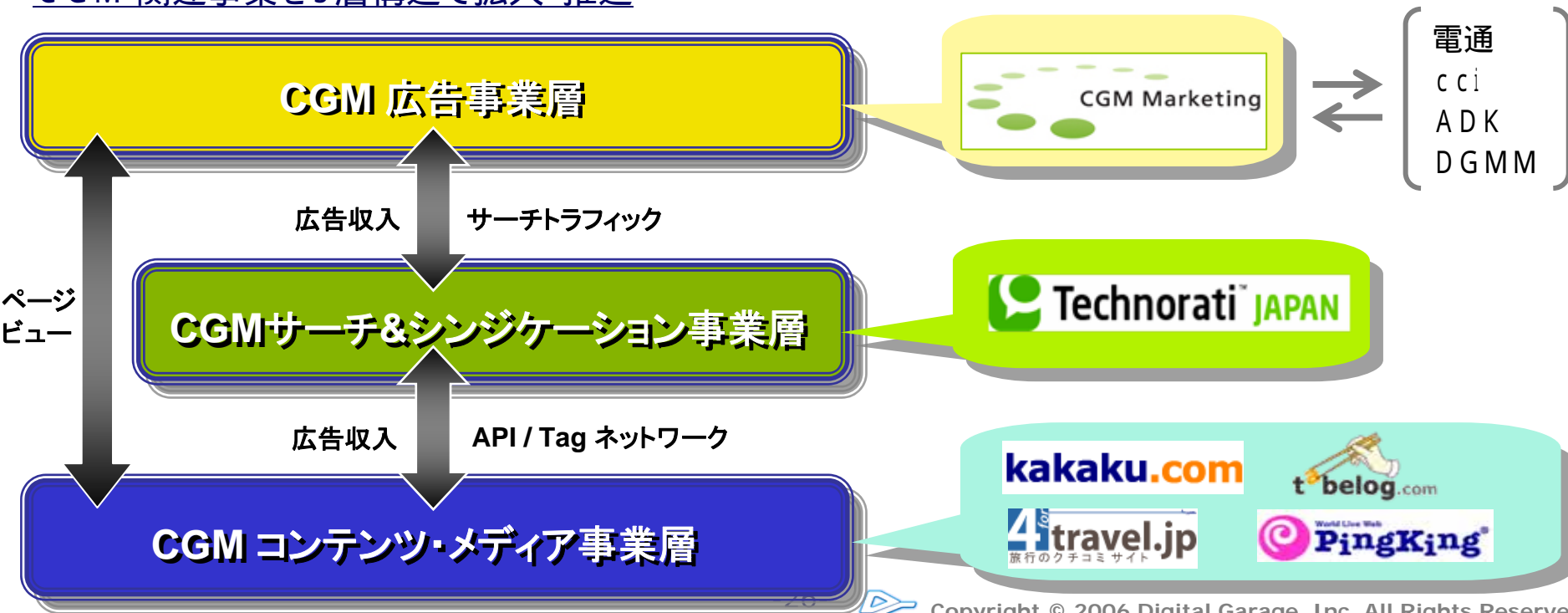
<セグメント事業会社の状況>

社名	持株比率	事業内容
(株)カカクコム	40%	国内No.1の購買支援/価格比較サイト「価格コム」、レストラン・クチコミ・サイト「食べログ」等の運営
フォートラベル(株)	カカコム 100%	国内最大級の旅行クチコミサイトの運営
(株)テクノラティ・ジャパン	100%	国内最大級のブログ検索サイトの運営
(株)WEB2.0	76%	Web 2.0時代の新CGMサイト  PingKing® の運営
(株)DGモバイル	80%	第3世代携帯電話向けコンテンツ/サービス事業
(株)CGMマーケティング	51%	電通、cci、ADKとの合併によるCGMアド商品開発・投資育成事業

<今期ハイライト>

- 2005年7月 : ▼ブログ検索サイト「Technorati Japan」正式オープン
- 2005年11月: ▼ぴあ、カカコムとの新合併事業=「(株)WEB2.0」の設立と、新CGMサイト「PingKing」の開設
- 2006年3月 : ▼カカコムグループの「フォートラベル」「食べログ」サイトのユーザー数が大幅伸張
- 2006年6月 : ▼電通、cci、ADKとの新合併事業企画の推進により「(株)CGMマーケティング」を設立
- 2006年7月 : ▼東京MXTVでテレビ番組「Kakaku.com TV」、「Blog TV」を放送開始>
ワンセグ対応とともにビデオ共有サイトの活用等でネット上での視聴も可能に

CGM 関連事業を3層構造で拡大・推進



第11期 事業セグメント別レビュー

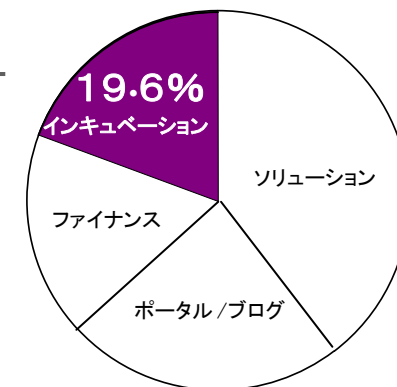
Ⅲ インキュベーション事業セグメント

<財務基礎データ>

売上高 2,449 百万円 / 営業利益 1,098 百万円 / EBITDA 1,100 百万円

(今期からの新設セグメント)

グループ内売上高シェア



<セグメントの位置付け/戦略>

DG本体でおこなっていたインキュベーション事業を別会社化。
グループ各セグメントの成長の下支えと、安定的な利益貢献を目指す。
また、Web2.0の海外案件のゲートウェイとして「Joi Ito's Lab」を開始。

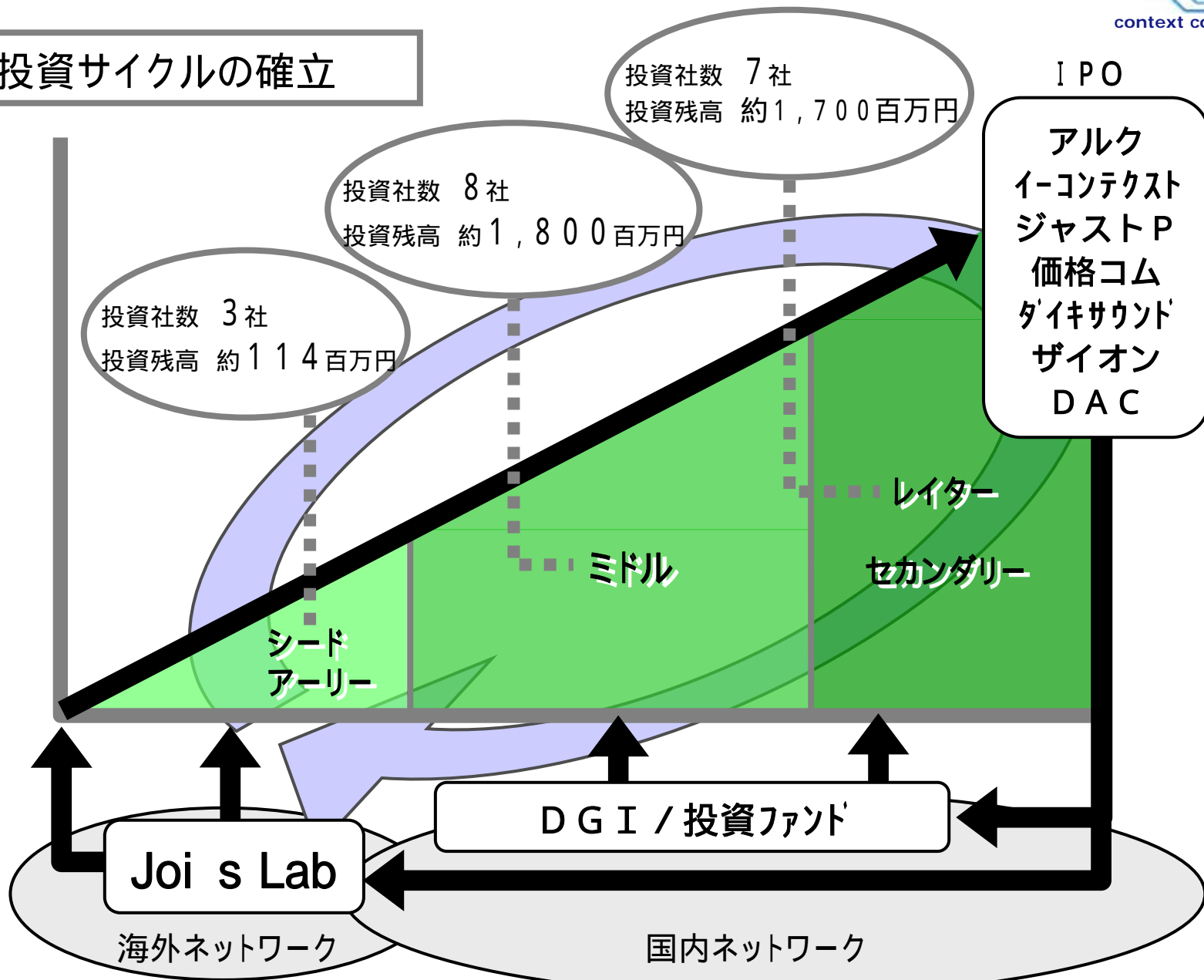
<セグメント事業会社の状況>

社名	持株比率	事業内容
(株)DGインキュベーション	100%	ベンチャーキャピタル事業
(株)DG&パートナーズ	80%	投資ファンド運営会社。日本アジア投資(株)が20%出資

<今期ハイライト>

- 2005年10月: ▼「DGニューコンテキストファンド」の組成による投資・インキュベーション体制の整備
- 2006年 1月: ▼ (株)ジャストプランニングの株式を、同社の(株)テレウェイブとの業務提携に伴い、一部売却
- 2006年 1月: ▼次世代インターネットビジネスの海外インキュベートゲートウェイ「Joi Ito's Lab」スタート
- 2006年 8月: ▼外国語教育事業の(株)アルクがJasdaqに上場

投資サイクルの確立



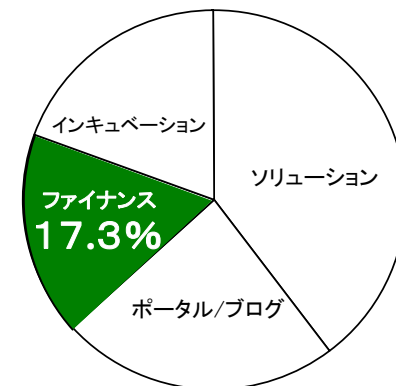
第11期 事業セグメント別レビュー

Ⅳ ファイナンス事業セグメント

<財務基礎データ>

売上高 2,167 百万円 / 営業利益 605 百万円 / EBITDA 665 百万円
 (対前期比 68%増) (対前期比 167%増) (対前期比 162%増)

グループ内売上高シェア



<セグメントの位置付け/戦略>

「決済ビジネス」をおこなうイーコンテクトを軸に、カカクコムの特ラフィックを活用した「保険」「金融」「証券」「不動産」事業で、中期的成長を目指す

<セグメント事業会社の状況>

社名	持株比率	事業内容
(株)イーコンテクト	46.7%	Eコマースサイトの決済・物流プラットフォーム
(株)カカクコム・フィナンシャル	カカコム 100%	外国為替証拠金取引サービス等
(株)カカクコム・インシュアランス	カカコム 100%	保険代理店業
(株)グロース・パートナーズ	58%	Web2.0時代のIR支援事業 *8月28日設立

<今期ハイライト>

- 2005年9月 : ▼ (株)イーコンテクトがサークルKサンクスと提携、同社店舗でのサービス開始
- 2006年4月 : ▼ (株)イーコンテクトが郵便局ATMでの決済取扱いを開始
- 2006年5月 : ▼ (株)カカクコムインシュアランスが保険の無料相談窓口としての総合ショップを開店
- 2006年5月 : ▼ (株)イーコンテクトが地銀ネットワークサービスと提携
- 2006年8月 : ▼ ディスクロージャー・IR最大手の亜細亜証券印刷(株)と(株)グロース・パートナーズを設立

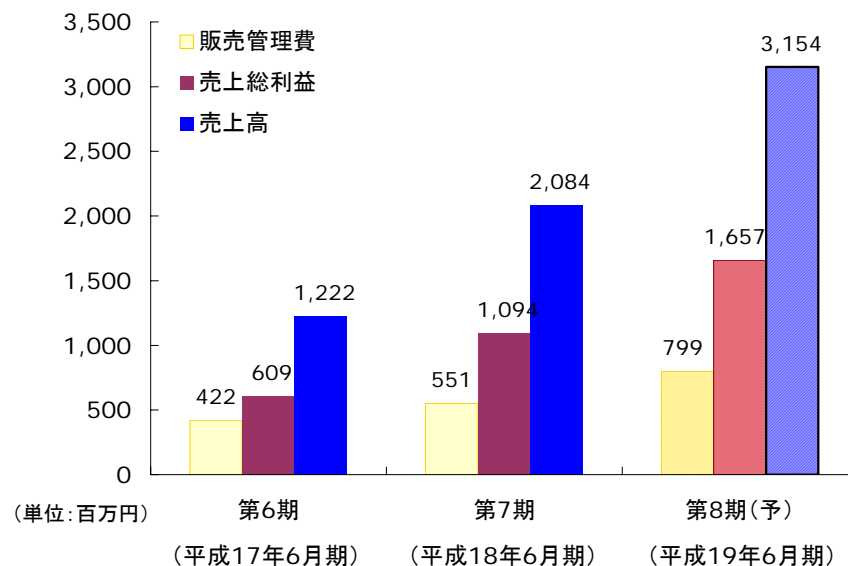
対前期比EBITDA 262%の牽引コア事業となった(株)イーコンテクトは、過去2年に続き今期も順調な事業進捗を予定。また、新規設立子会社として「(株)カカコム・インシュアランス」「(株)カカコム・フィナンシャル」「(株)グロース・パートナーズ」は中期的に育成中。

< イーコンテクトの事業進捗 >

郵便局を加え、全国約52,000拠点を網羅



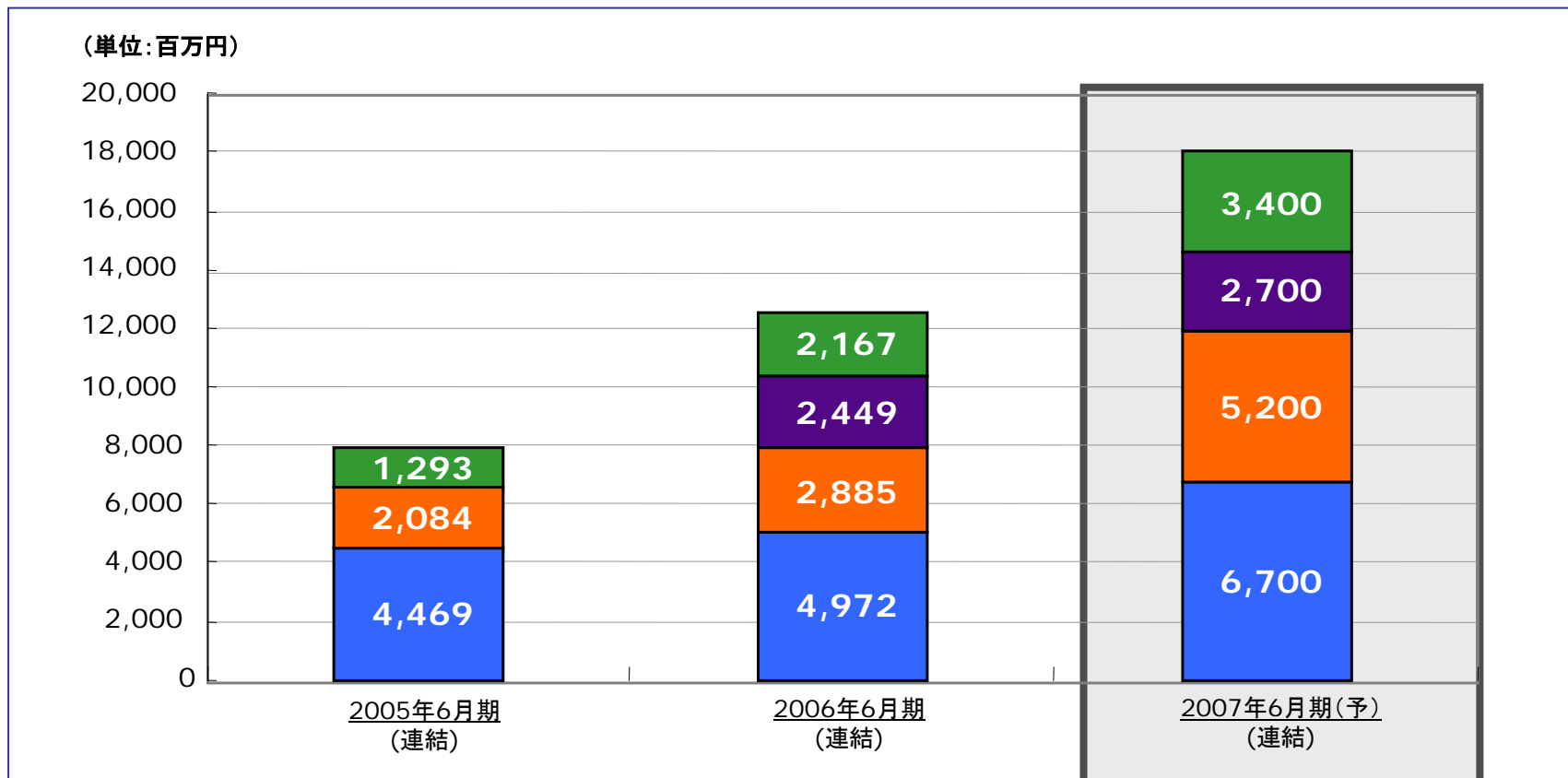
今後の業績予想(第6・7期実績、8期予想)



➡ ファイナンスセグメントとしての今期のEBITDAは550百万円と前期の83%にとどまるが、イーコンテクトにおけるEBITDAは900百万円と前期の150%と順調な進捗を見込んでいる。

事業セグメントと中期経営計画

セグメント別売上高（来期予想と過年度の推移）

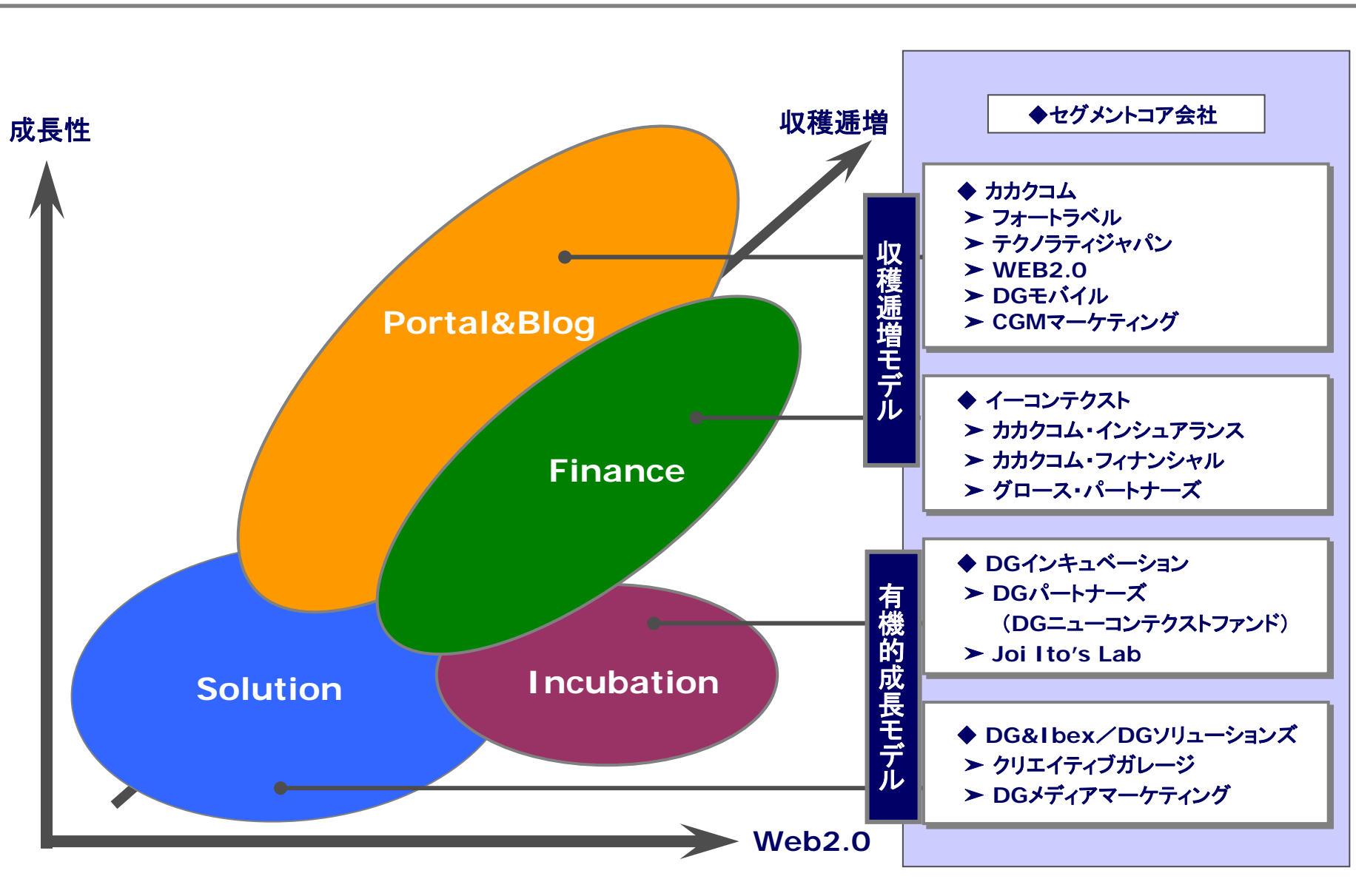


■ ファイナンス	1,293	2,167 (67%増)	3,400 (56%増)
■ インキュベーション	0	2,449 (-%増)	2,700 (10%増)
■ ポータル/ブログ	2,084	2,885 (38%増)	5,200 (80%増)
■ ソリューション	4,469	4,972 (11%増)	6,700 (34%増)

セグメント別 EBITDAの比較(来期予想と過年度の推移)

*消去または全社控除前ベース (単位:百万円)

	第10期	第11期		第12期(予算)		
	金額	金額	対前期比	金額	対前期比	備考
I ソリューション	457	354	77%	450	127%	DGとIbex&rimsの統合効果による売上高の増加と経費の節減
II ポータル/ブログ	704	788	112%	1,000	127%	インキュベート過程の各子会社の創業赤字をカカコムの伸長により吸収
III インキュベーション	—	1,100	—	1,000	91%	DGグループによるインキュベーションの成果を每期安定的に計上
IV ファイナンス	254	665	262%	550	83%	イーコンテクトは更なる伸びが期待されるが、新規設立会社の創業赤字によりEBITDAは減少
小計	1,415	2,907		3,000		



<全体戦略>

Web2.0の新潮流に向けての進化と「次世代型インターネット事業」の早期確立

各事業セグメント毎の課題・ポジショニングを認識し「世の中の役に立つ」事業を推進する

<中期目標>

第13期 売上高／300億円、営業利益／55億円、EBITDA／60億円 の達成

	ソリューション	ポータル・ブログ	インキュベーション	ファイナンス
今期目標	事業統合効果の最大化による営業利益の向上	価格コムの新なる成長と広告集稿面でのグループシナジー	継続した投資育成事業での利益貢献	イーコンテキストの新なる成長と、事業インフラを活用した新規事業の開始
中期目標	激変する「メディアと消費者」を結ぶROI重視のトータルマーケティングパートナー	CGM事業群の早期収益化と第二・第三の中核事業づくり	「Joi's Lab」をゲートウェイとした海外案件の成果づくり	イーコンテキストに続く「ストック型キャッシュカウ事業」の育成



当資料に記載された今後の見通し、戦略などは、平成18年8月30日現在での弊社の判断であり、様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。